

図書だより

第8号

令和5年12月20日 発信
富田中学校図書室



「忙しくて読書ができない！」という話をよく聞きます。

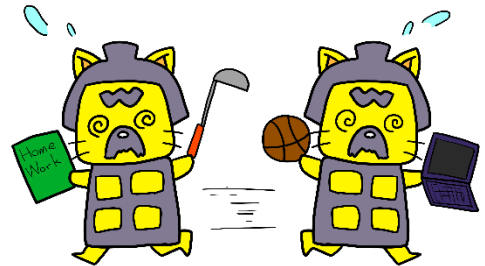
どうやって読書の時間を作るかというのは、なかなか難しい問題です。

学習に運動に遊びに、時間がいくらあってもたりないと感じる人も多いでしょう。

そのようなときにおすすめするのが、短いお話が集まった本です。短編小説やショートショート集など見たことのある人も多いのではないのでしょうか。

学級文庫にある「5分後シリーズ」や『きまぐれロボット』もその一つですね。スキマ時間でサクッと読書に向いています。

時間があるときに読み直すこともおすすめです。気づかなかった作品の魅力を読み取ることができでしょう。



図書委員長より

私がスキマ時間に読む本は、「5分後に意外な結末」シリーズです。

このシリーズにはいろいろな人が書いた作品が、たくさん詰められています。

どのお話も5分くらいで読むことができるので、忙しくて時間がない人や、長い物語を読むのが苦手な人にもおすすめです。

また、表紙に本ごとで異なる素敵なイラストが施されています。ぜひ気になるものから手に取って、お気に入りの作品を見つけてみてください。

学校図書館司書より

富田中学校の図書室には、意外とたくさんの絵本があるのを知っていますか？

実は、3年生になると家庭科の授業で保育実習があるため、幼児向けの読み聞かせ絵本なども、図書室には配備されているようです。

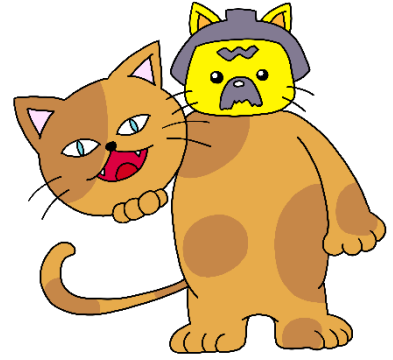
また、生き方について問いかけるような、大人向けの絵本もたくさんあります。ふと手に取った絵本が想像以上に深い内容で、ドキッと考えさせられることも…。

最近入った絵本『いつかあなたをわすれても』は、身近な家族を忘れていく祖母のことを受け入れながら、母が娘に対して女性の生き方を語りかける物語です。

「おんなのこ」と「おんなのひと」との違いとは？「おもいでのにづくり」とはどういうことなのか？ことばに込められた意味や想いを深く考える絵本です。

短い時間でも読めて心に長く余韻の残る物語を、ぜひ探してみませんか？

「図書室からのオススメ」



書名 : 猫の扉 猫ショートショート傑作選
選者 : 江坂遊
出版社名 : 扶桑者

身近な生き物である「猫」は多くの物語の中に登場します。人に寄り添ったり、だましたり、何もしなかったり。登場する姿はさまざまですが、作者や読者に愛されている存在であるとわかります。

この本は、猫が登場する古今東西のショートショート（短い物語）を集めた1冊です。どこかで読んだことのある名作にも、初めて出会う傑作にも出会えるのが魅力の一つでもあります。

見開き1ページで終わる短い作品もありますので、お気軽に手に取ってみてください。

書名 : 明日はきっと お仕事小説アンソロジー
編者 : 堺憲一
出版社名 : 株式会社 KADOKAWA

旅行会社、労働基準監督署、出版社、公共職業安定所、クリーニング店……どのような仕事をしているかわかるでしょうか。

社会で働く前に、職業について調べたり話を聞いたりする機会は多くあると思います。しかし、たくさんの職業について知ることはなかなか難しいでしょう。

この本はさまざまな小説の一部を抜粋し、まとめたものです。

一部分ではありますが、「この作品をもっと読みたい」「この仕事についてもっと知りたい」と思うきっかけになるでしょう。そのような新たな出会いのきっかけ作りも小説集の魅力です。

書名 : 仕事ください
著者 : 眉村卓
出版社名 : 竹書房

未来への出稼ぎ、自分だけが噛み合わない会話……ここではないどこかの世界の話たちが収められています。

作者は『なぞの転校生』や『ねらわれた学園』など多くのSF小説を書いています。この本もさまざまな世界の一部を描いています。私たちの世界のすぐ隣にあるかもしれない別の世界。ひょっとしたら、どこかで交わることがあるかもしれないと思わせる切迫感があります。

ここから広がる世界に思いをはせるのもおもしろいでしょう。